

馬関越荷方役所跡



江戸時代、馬関は西国一の大湊でした。北越方面から北前船で回送してくる米や昆布などの積荷を「越荷」といって、これを取り扱う業務を行っていた所が「馬関越荷方役所」でした。

越荷の中継地として、萩本藩は藩直営の倉庫業、金融業を営み莫大な収益を上げました。これが洋式銃や軍艦購入に充てられ、維新回天の財源ともなるのです。高杉晋作は、この馬関越荷方頭人を経て海軍総督になっています。